

## 資料室

[HOME](#) | [資料室](#) | [労働組合](#) | [組織活動](#) | [労働運動](#) | [労働組合の目的とはたらき](#)[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[組織活動](#)[組織運営と法律](#)[労働安全衛生](#)[経営対策活動](#)[教育・宣伝活動](#)[労働時間をめぐる諸問題](#)[教育活動](#)[選挙活動](#)[組合組織（公務員）](#)[教育カリキュラム](#)[▶ キーワード検索はこちら](#)

## 労働運動 労働組合の目的とはたらき

1. 労働組合を定義すると、労働組合とは『労働者が団結し、人間らしく「物・心」両面で、より豊かに生きるために運動する「自主的」で継続的な大衆組織』と言えます。

2. 私たちが、自分の労働力を安売りしないようにする方法は、ただひとつ、団結することです。個別でなく、みんながまとまって団体交渉によって取引をするのです。安すぎて売れないというときは、まとめて売らない、すなわちストライキをすることにします。

このことは、憲法第28条に労働者の基本的権利として認められています。いわゆる労働三権と呼ばれるもので、団結権・団体交渉権・団体行動権のことです。

3. 労働組合の目的は、人間らしく豊かに生きていくことにあります。

労働組合は、生存に必要な衣食住を中心にした「物」の獲得を目指すとともに、労働者の精神的な充実、安定をめざします。

今日、労働の複雑多様高度化からくる精神的破断が問題視されています。労働による精神的重圧からの解放と共に「心」の充実を促進し、物心両面の豊かさを追求していかなければなりません。

4. この目的にむかって、労働組合の活動は、次の3つにまとめられます。

一つは、会社に要求し働きかえる活動です。具体的には雇用の確保、労働条件の改善、働きやすい職場づくりなど、会社と交渉し、あるいは、会社の経営が安定し、発展していくよう労組が積極的に提言し、労使で協議する等の活動です。

二つは、政治に要求し、働きかける活動です。物価や税金、老後の不安、また雇用の安定につながる経済政策や、産業政策の充実など、私達の代表を議会に送り出し、要求の実現を図ります。

三つは、組合員相互の活動です。お互いが協力しあう活動で、文化・レク活動や共済活動、ボランティア活動などがそうです。

5. 労働組合は、自主的で継続的な大衆組織であるということは、まず、会社や政党など外部からの支配、介入を許さない、独立した組織であり、労働者が自主的に組織し、運営していくことです。

また、一時的な組織ではなく、労働組合がかかせる目的にむかって常に活動をし、組織を強化し、運動を発展させつづけるものです。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

**Worker's Library 会員登録****お申し込みはこちらです。**[>>一覧へ戻る](#)

